



ほいくえのわ

2021年11月7日 (日)
10:00~12:00

合同会社こどもキャピタル

【企業主導型保育】みちくさ保育園

(東京都葛飾区新小岩2-3-11)

【いい保育士って、どんな保育士? いい保育って、どんな保育?】

☆「私はこう思う」を、一人ひとり伝えてほしい

コロナ禍の対応、多様な保育観を例に取っても「絶対の正解」も「正解はただ一つ」もないと感じています。職員みんなで決めていきたいので「どっちでもいい」は避けたい。意見収集は大変なこともあります、そこは意識して努めています。多感な子どもたちの内側から湧き出る想いに応えたり、子どもたちが抱いた興味を支えられるよう、「深める努力をしている保育士」はとても魅力的です。

☆保育園はいろいろな社会の起点になれる

近所で畑を借りて、さまざまなお野菜を育てています！毎年秋は芋掘りイベント。子どもたちが作ったさつまいもを家族で収穫して、楽しい思い出作りに貢献したい。地域関係が希薄になりがちな今だからこそ、親同士が繋がったり、家族ぐるみのお付き合いのきっかけになれば嬉しいです。保育園が担える役割は多岐にわたるはず！



【取材担当者からみた「みちくさ保育園」の保育】

☆「子どもも保護者も想う保育園」

園内は明るい先生方の声、楽しげな子どもたちの声で、とてにぎやか！初めて訪問した私にも「おもちゃを一緒に探そう」「写真撮って!」「これ(粘土のケーキ)見て～」と楽しく接してくれた子どもたち。普段保育者の皆さんが温かい手と優しい言葉で、保育されていることは明らかです。玄関には保護者に向けた、貸出自由の本棚があります。本で得た知識が子育てのヒントに少しでもなればと、松村さんの保護者を想う気持ちが伝わります。

【私が参加します!】



「いい保育士とは、なかなか難しいお題ですね。」とじっくり考え、「**こどもの学びを見つめる人**」と書いていただきました。

保育士として現場に入ることも。「保育は理論も大事、実践も大事」保育や育児に関する本もよく読み、この日は非認知能力に関する心理学の本を携帯されていました。とっても気さくで、保育に対して熱意があるエネルギーな方です。
(みちくさ保育園 経営者・施設長 松村昂明さん)